

2022年度 授業改善アンケート第3Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
北海道誌 (S)	3 Q	渡部 斎	これからも、講義内容を充実していきたいと思います。 レポート作成は、予習復習になります。
社会学入門 (M)	3 Q	山本 一彦	理解度の確認には気をつけながら進めてきたが、アンケート結果からは概ね良好と受け止めている。また、受講態度については時に厳しく注意を与えたが、その意味については他の受講者はきちんと受け止めてくれていたと感じた。なお、教科書を使用していないのに拘わらず、「教科書・・・」というアンケートの文言はよく理解できないものであった。
社会学入門 (S・D・A)	3 Q	松下 守邦	本科目は2学部3学科、同一教室にて授業がおこなわれました。すでに1年次に専門科目の社会学系科目を履修済である学科と、社会学系科目未履修の学科群の協働履修として設定されました。社会学論文のリーディング課題、映像資料のコメントには、ていねいな記述回答が多くありました。これからの授業設計の参考にいたします。ありがとうございます。
外国の歴史	3 Q	横田 肇	各項目とも、比較的良好な評価で、今後も現行の授業のやり方を踏襲していきたい。ただ、パワポ、口頭での提示と説明方法をさらに工夫し、学生の理解と関心を高めたい。また、成績評価が定期試験に偏ったので、小テスト、ミニッツペーパーの実施等を通して、評価材料を増やしたい。
データインテリジェンス基礎	3 Q	近澤・野村	本科目は、e-Learning科目であり、受講者自身にある程度、学習ペースを委ねて実施した。また、習熟度に差が生じる可能性を考慮し、事前に「補講」「特講」をスケジューリングするなど、適宜対応した。授業時間に縛られない学習スタイルは概ね前向きなコメントが多かったが、教材内容について改善点が多く挙げられたので、提供企業に対して改良を要望し、より良い教材の制作に取り組む。
基礎英語Ⅱ (SDA-1)	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「教え方、配布プリントが分かりやすいところが一番良かったです。」「質問する時間などがあり、分からないことをすぐに聞くことが出来たので、授業の内容を理解することができました。」「1年のなかで2学期も英語を先生から教わることができてよかったです！わかりやすく教えてくれてありがとうございます。」「テスト頑張ります！」「マジでわかりやすいです。」「ハロウィンのイベントなどもしっかり行ってくれる楽しい授業でした。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
基礎英語Ⅱ (SDA-2)	3 Q	宮嶋 達也	基礎英語Ⅰ同様に実践的な英会話を中心にペアやグループワークでアクティブラーニングを意識し学生のみなさんも段々、英語で発話することに慣れてきており驚くほど上達した学生もおりました。コロナ禍でしたがスムーズなワーク活動に協力いただき感謝いたします。
基礎英語Ⅱ (SDA-3)	3 Q	横田 肇	全体的に良好な評価であり、特にパワポの提示と説明の評価が高かったため、今後も今の調子で授業を続けていきたい。ただ、興味の項目の評価が少し低かったため、英語への興味と関心をもってもらえるよう努めたい。また、学生の英語の能力の進展を今より増やすため、さらに工夫を加えたい。課外学習も促進したい。
基礎英語Ⅱ (SDA-4)	3 Q	岡島 徳昭	学生からの要望に応え、さらに分かりやすいパワーポイント資料の作成に心掛ける。
基礎英語Ⅱ (SDA-6)	3 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は第1Qに比べて良かったと思う、特に英語が苦手な生徒にとって分かりやすいという声があり第1Qから改善することが出来た。板書の文字の色分けに指摘が入っており、もっと見やすく分かりやすく記述するよう心掛けたい。講義のベースとしては問題なかったと思われる。第3Qの授業ではプリントを多く活用したため、学生は自分で理解度を確認しながら講義を受けることが出来た。学生の当初予想していた学力と実際の学力が異なっていたため教科書を上手く活用出来なかった。次年度は教科書の選定を改め、効果的な授業を展開したい。
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	3 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。評価いただいた以下の点、今後も継続しさらにみなさんが主体的に学ぶことができる授業を心がけていきたいと思います。①ハイブリッドによる授業の録画提供。②前回の授業の理解の把握と質問への回答を中心とした振り返り。③ご近所トーク(グループディスカッション)の導入。④実践(臨床)事例を用いた説明。⑤学びから現在の学生生活で取り組む課題の明確化。
社会学と社会システム	3 Q	松下 守邦	社会福祉学科専門科目、必修科目、社会福祉士受験カリキュラム対応のための社会学系科目でした。国家試験過去問題を解題する作業課題と、社会学系論文のリーディング課題を設けました。準備学修によりていねいな回答を寄せてくださった学生さんに感謝します。今後の授業再設計のための資料といたします。

権利擁護を支える法制度	3 Q	大倉 司	教科書とパワーポイントを使いながらの授業展開ほ心がけましたが、権利擁護と法の関わりを分かりやすく伝えるには時間が足りなかったと思っています。
保健医療と福祉	3 Q	宮崎 剛司	次回より、更に丁寧なわかりやすい講義に努めることとする。個別性も意識しながら、講義に対して学生の理解とともに進めることとする。
美術学概論Ⅱ	3 Q	寺嶋 弘道	学修者一人ひとりの考察をうながし、その思考内容を自らの言葉で表現することが授業目標の一つであった。そのため、単に知識や情報を得ようとする受講態度や分析・考察力の不十分な受講生には暗中を模索する結果となった可能性がある。講義内容の精選、解説の的確化、時間配分の改善を図り、1日2講義2テーマについてフィードバックの方法を工夫しつつ「考える力」が伸長するような授業展開を行う。
建築システム論	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。設問10問の結果では、満足できた以上が全て92%以上の結果を示し、有意義な授業であると思いました。自由記述では板書の時間確保が良いこと、動画授業があり有意義で理解が深まったこと、資料配布も有効であることなどの記載がありました。次年度以降も資料や動画などの改善に取り組み、理解しやすい授業に取組んでいこうと思います。
建築構造力学Ⅱ	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート設問の結果としては、全般的に満足できた、理解できた等が92%以上の結果となり、全体的に良い結果と思います。課題レポートの解答もTeamsで記載し、更に授業中に全て解説でき、理解力が向上したと思います。自由記述では授業進行具合は特に問題なく、早すぎるとの意見はありませんでした。今後も課題レポートの改善の取り組み、理解しやすい授業に取組んでいきます。
福祉環境計画論（2年生）	3 Q	佐々木 哲之	授業の理解度を確認しながら授業展開をしていくことが大切であるが、コロナ感染のため欠席により中々全員がそろることが少なく、授業展開において苦労した。アンケート結果は全体的には概ね満足できる結果であったが、設問3の時間配分においてにおいて表れたと思われる。
経営組織論	3 Q	高見 啓一	おおむねほとんどの学生（回答者の97%）より、「適切」以上の回答をいただきました。好意的なコメントも多数いただき、ありがとうございました。みなさん熱心に授業に臨んでくれたようで、「経営学検定（初級）」の合格者も【20人】出すことができました。引き続き同じスタイルを基本としながらも、よりよい授業を作ってまいります。学生のコメントについても触れておきます。「資格取得」・「レポート（論文）の書き方」・「実務家による講義」・「就活の話」が、みなさんには役立ったようです。一部ご紹介いたします。 【いただいたコメントの例】 ■良かったところは資格を取れることと、先生がためになる話を沢山してくれるところだと思います。 ■高見先生は、冷たい感じかと思ったら、就活の事を話をしてくれたり、特別講師を呼んで公演を開いてくれたり、“社会に出たらこんな感じ”的なこと話したりしていて、生徒のためになることを沢山していて、本当はとても熱意があり、生徒の事を考えてくれている先生だと思いました。 ■外部の人がきてくれて話してくれた事や、今回の課題であるレポートに取り組んだことによってレポートのレベルも上がったと思うのでこの講義を受けて良かったです。一方で、教室の音響など「声の聞き取りにくさ」に関するご指摘も3人ほどありました。設備面での限界はあるかもしれませんが、配慮・工夫していきたいと思っています。
経営管理論	3 Q	信濃 吉彦	本年からテキストを変更したため十分な対応ができていたか心配していたが評価いただいた学生の意見が概ね想定範囲だったので安堵している。今後はさらに研究を続け分かりやすい授業の構築に努めたい。学生諸君は、学習の成果を形にして残す（データベース化や実践のための思考マニュアルの作成）が苦手なようである。残念ながら、これは弱点だと言っていると思う。既習内容を自分の言葉で再構成し、自分のモノとして欲しい！
文章表現演習（M）	3 Q	津田 昭彦	返却方法について見直して、受講学生一人ひとりに対する時間を、これまで以上に確保できるようにします。アンケートの回答、大変参考になりました。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（M）	3 Q	畠山 明子	アンケートへの回答ありがとうございました。教室が2つに分かれ、双方向の授業展開が難しく、学生の皆さんにはご迷惑をおかけしました。今後とも、参加型の授業を通じて学生の皆さんの理解度が深まるよう、教材の工夫等をしていきたいと思っています。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（S）	3 Q	畠山 明子	アンケートへの回答ありがとうございました。教室が2つに分かれ、双方向の授業展開が難しく、学生の皆さんにはご迷惑をおかけしました。今後とも、参加型の授業を通じて学生の皆さんの理解度が深まるよう、教材の工夫等をしていきたいと思っています。

ストレスとメンタルヘルス	3 Q	吉澤 英里	まずは、アンケートへの回答ありがとうございます。今年度の開講科目であり、手探りでの授業展開となりました。受講生の皆さまには、様々な点でご不便をおかけしたことをお詫びします。特に、課題提示のタイミングや内容、評価方法について、次年度は改善をしたいと思います。それ以外の点についても、いただいたコメントをふまえて改善をします。
発達心理学Ⅱ	3 Q	吉澤 英里	アンケートへの回答ありがとうございます。担当予定者の変更により、連続科目（発達心理学Ⅰ・発達心理学Ⅱ）にもかかわらず、授業の進行やノートテイク、成績評価といった点で履修生の皆さまにはご不便をおかけした点をお詫びします。いただいたコメントを拝見しました。次年度担当するかは未定ですが、もし引き続き担当できるのであれば、上記の点を中心に改善をしていきます。
生涯学習概論Ⅱ（M）	3 Q	藤根 収	受講者数も多い授業でしたが、比較的良好な評価をいただきました。ただ、一部学生の期待に添えなかったことを伺わせる回答もありましたことから、今後授業の内容や展開を見直しつつ改善に努めてまいりたいと思います。
生涯学習概論Ⅱ（S・D・A）	3 Q	藤根 収	概ねよい評価をいただきましたが、授業内容の理解などの面でさらに改善が必要と思われることから、今後さらにわかりやすい授業づくりに努めてまいりたいと思います。
知的障害者の心理・生理・病理	3 Q	堀川 厚志	進め方、内容への関心度、資料提示、全体的な満足度がいずれも不適切であることへの評価がないため、引き続き維持するとともに、内容、伝え方をさらに精査して今後の授業にあたる。
肢体不自由教育Ⅰ	3 Q	千葉 聡美	1年生の授業のため、言葉が難しくないかどうか気を付けた。映像教材をとどころに挟んだところ反応がよく、実践の場を見ることの必要性を感じたが、実際の学校訪問ができないため、適切な映像を収集しておくことを心がける。体験的な内容はインパクトがあったため、十分時間を取れるように構成を改善したい。
保育内容総論	3 Q	佐藤 慶知	ご回答いただいた内容を参考に今後の講義にいかし、より良い講義ができるよう努めてまいりたいと考えております。
知的障害教育Ⅰ	3 Q	藤根 収	比較的高い評価をいただきました。今後も学生がよりよく理解できる授業内容と展開を心がけてまいりたいと考えます。
病弱者の心理・生理・病理	3 Q	高橋 健剛	各設問や理解の程度等に関して、大きな問題点はなく、今後さらにVTRや具体的な事例を通して一層の授業の充実を図っていく。
民法（S）	3 Q	大倉 司	近年の民法改正の経緯や最近話題になっている家族法の課題などを積極的に取り上げましたが、時間配分に工夫が必要であったと感じています。
人文地理学Ⅱ	3 Q	渡部 斎	これからも、講義内容を充実していきたいと思います。
日本政治史（M）	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。また、毎回の授業ではしっかりとした感想や質問を出してくれて本当にうれしく思います。皆さんからいただいた貴重なご意見を糧によりよい授業作りに精進してまいりたいと思います。
日本政治史（S）	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。また、毎回の授業ではしっかりとした感想や質問を出してくれて本当にうれしく思います。皆さんからいただいた貴重なご意見を糧によりよい授業作りに精進してまいりたいと思います。
音楽表現Ⅰ	3 Q	小黒 万里子	短期間での実技、楽理大変ですが、各自の前向きな努力で理解を深め、実技を習得するよう意識しました。次年度は今年度の復習をしながら、実技中心に弾き歌いができるよう目標を高くもち指導いたします。
言語表現	3 Q	吉江 幸子	言語表現を受講していただき、ありがとうございました。アンケート項目に対してすべての項目で高評価を頂きました。演習科目なので能動的な時間が多くその分、学生の皆さんが努力しながら制作する姿が印象的でした。自分の作品だけでなく他者の制作物も見聞し、表現方法を参考にすることで自分自身の技能向上につながります、3年次に向けて同様の取り組みを期待しております。
乳児保育Ⅱ	3 Q	吉江 幸子	乳児保育Ⅱを受講していただき、ありがとうございました。3歳未満児の保育が重視されており、様々な技能修得が望まれる科目です。毎回の実技演習による評価なので、欠席が重なりと自ずと低い評価となります。保育専攻の学生にとっては次年度の保育実習に向け、より一層の努力が必要となります。意欲的に取り組むことを今後も期待しております。
社会的養護Ⅱ	3 Q	杉本 大輔	出席確認について学生に不信感を与えたことは猛省する。
WEBデザインⅠ	3 Q	近澤 潤	学生からのアンケート結果より、当年度本科目における課題として、①習熟度の高低差、②課題数、③フィードバックの充実が挙げられます。①では、前提とするツールの操作技術に差があることが原因であることから、底上げの補講を実施する。②では、習熟度別に課題を設定し、内容・数を自己調整できるようにする。③では、Teams等のツールを活用して、対面以外でのフィードバックの機会を増やす。以上、3点を今後の取り組みとして反映し、授業改善を図り

アニメーション I	3 Q	梅田 真紀	課題の難易度を段階的に設定したことで、授業の理解度が高まったと思います。今後は授業の時間配分や資料などを改善し、さらに満足度を高められるように努めます。
東洋・日本美術史 II	3 Q	地家 光二	アンケート各項目に対し、総体的には「適切」「満足」が大半の肯定的評価ではありましたが、さらにそれらの適切度・満足度をより高める講義内容や進行の工夫も必要と考えます。受講生の意見や感想をもっと引き出す進め方が、今回の講義ではやや散発的で充分にはいたりませんでした。また、スライドの視聴しやすさ（映写スクリーンと手元のスマホ）にも配慮すべきことと思います。
建築計画 II	3 Q	安藤 淳一	パワーポイントのページボリュームの関係でページの展開が早くなる場合があります。内容を精査し、コンパクトにできるものはページ数を修正してみたいと思います。
建築法規 II	3 Q	佐藤 善太郎	建築法規 III は用途地域を中心とした、幅広い学習と理解が必要な単元ですが、理解度の確認については十分な時間を採ることができなかつたと反省しています。重要条文の線引きについては、線引集を導入したことで線引きにかかる時間を省略することができましたが、線引きをサポートする学生については線引きのチェックなど対応を考えます。
建築環境 II	3 Q	伊藤 裕康	学修内容の確認のため、二級建築士問題を解かせていますが、過去問に出題されている内容だけが重要なのではないことを、今後しっかりと説明していきます。
鋼構造	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート設問の結果としては、全般的に満足できた等が90%以上の結果となり、全体的に良い結果と思います。しかしあまり理解できなかった以下が23%でした。授業内容は計算課程の複雑さなどから、数学的な計算が不得意な人もいるようでした。要望としては、講義内容の復習、予習をテキスト中心にしっかり対応してほしいと思いました。次年度以降も解り易い演習課題や資料作成に取り組んで、理解しやすい授業内容にしていきます。
建築生産	3 Q	小笠原 健	本来、テキストは、履修学生が予習で読んでくるものです。しかし、本学の学生はそれさえもやってきません。ただ、テキストを渡すだけでは理解はできないでしょう。また、このテキストはノート型のもので、板書を最小限にし、ノートを取る時間を節約することで、隔回の小テストの時間を確保しているのです。成績上位者だけをターゲットにして授業をしている訳ではありませんし、この授業方法で、十分な実績を上げています。テキストを熟読するのが、学習の基本です。
住空間計画	3 Q	安藤 淳一	筆記試験につきましては、該当する内容を授業で理解した上で実施するという意図のもとにおこなうため、このようなスケジュールになっています。授業ノートの筆記内容は決してボリュームが多いものとは考えておりませんでした。再検討してみます。チャトルバス等の遅延によるものであれば遅刻とは致しません。
経済学概論 (M)	3 Q	河野 善文	授業時の小テストが試験に役立ったとの意見がありましたので、今後も、板書による授業と小テストを組み合わせて授業をすすめていきたいと思っています。
経済学概論 (M-SP)	3 Q	河野 善文	授業時の小テストが試験に役立ったとの意見がありましたので、今後も、板書による授業と小テストを組み合わせて授業をすすめていきたいと思っています。
経済学概論 (S)	3 Q	河野 善文	授業時の小テストが試験に役立ったとの意見がありましたので、今後も、板書による授業と小テストを組み合わせて授業をすすめていきたいと思っています。
西洋経済史 (M)	3 Q	小林 大州介	積極的なご参加、ありがとうございました。試験もまずまずだったと思います。お疲れ様でした。
西洋経済史 (S)	3 Q	小林 大州介	積極的なご参加、ありがとうございました。試験もまずまずだったと思います。お疲れ様でした。
トレーニング 科学 II	3 Q	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。今年度も学生から「分かりやすかった」、「この講義楽しい」などの声をきけて大変うれしかったです。しかし、講義の理解度に関する項目が100%にならず、今後も課題として、より分かりやすい講義を行えるように工夫していきたいです。
経営戦略論	3 Q	伴 秀実	「経営戦略論」の講義については、全般的に良い評価を頂きました。改善意見にあった、マイクの音量については、今後、改善を図っていききたいと思います。
経営戦略論 (SP)	3 Q	伴 秀実	経営戦略論」の講義については、全般的に良い評価を頂きました。改善意見にあった、マイクの音量については、今後、改善を図っていききたいと思います。
マクロ経済学	3 Q	河野 善文	数字が苦手という声がありましたので、今後でもできるだけくわしく計算方法を解説していききたいと思います。

国際政治論 (M)	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。また、毎回の授業ではしっかりとした感想や質問を出してくれて本当にうれしく思います。皆さんからいただいた貴重なご意見を糧によりよい授業作りに精進してまいります。
国際政治論 (S)	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。また、毎回の授業ではしっかりとした感想や質問を出してくれて本当にうれしく思います。皆さんからいただいた貴重なご意見を糧によりよい授業作りに精進してまいります。
スポーツ指導論	3 Q	高井 雅一	毎時間、授業プリントを配布して、終了時には全授業内容がわかるようにファイルさせて進めている。授業内容を学生に確認すべきところが不足していましたので、改善していきたい。また、スポーツ指導者としての難しい内容であり、適切な実践例を取り入れながら、進めていきたい。
レクリエーション概論 (2年)	3 Q	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございます。学生からの改善意見、要望等が少ないようですがその中で学生からの質問に対して共有して色々なことが聞けて良かったと評価を頂きましたので今後も引き続き取り組んで行きます。ありがとうございました。
レクリエーション概論 (3年)	3 Q	尾西 則昭	学生からの改善意見、要望等の回答がありませんでした。設問での回答で教員の話し方、時間配分、理解度、興味関心等、満足していない学生が一部おりましたので今後は満足のいくような授業展開、最新の情報提供を心がけていきます。ありがとうございました。
イノベーションマネジメント論	3 Q	阿部 裕樹	今回、政府が推進しているDXについて、丁寧に解説し、レポートの課題にしたところ多くの学生が興味を示してくれました。これからも、時代のトレンドを意識した講義内容の構成を心掛けてまいります。
ビジネス法務	3 Q	青山 浩之	ビジネス法務は、第3クォーター月曜日4講目と金曜日4講目の科目で、履修者77名、平均出席者66名(平均出席率86%)という状況で、回答者が69名であった。授業の内容は興味や関心が持てたかは、とても・充分にとほぼ8割(前年6割)、全体的満足度でも、前年度に比べ、とても・充分満足の評価を受けた。記述のコメントがほとんどないが、これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。
産業心理学 (M)	3 Q	吉澤 英里	【同一授業のため、産業心理学(S)と共通のコメントをいたします】 アンケートへの回答ありがとうございます。履修人数と教室の収容定員の関係から、大講義室での授業となりました。座る位置によって、受講環境が大きく違うため、「暑い」「寒い」「文字が大きい」「文字が小さい」「音が聞き取りにくい」といったご不便をおかけしました。細かい要望については授業内のコメントシートで随時受けつけていました。今回のアンケートでいただいた内容は、情報を精査しつつ、次年度の改善に活かしたいと思います。
産業心理学 (S)	3 Q	吉澤 英里	【同一授業のため、産業心理学(M)と共通のコメントをいたします】 アンケートへの回答ありがとうございます。履修人数と教室の収容定員の関係から、大講義室での授業となりました。座る位置によって、受講環境が大きく違うため、「暑い」「寒い」「文字が大きい」「文字が小さい」「音が聞き取りにくい」といったご不便をおかけしました。細かい要望については授業内のコメントシートで随時受けつけていました。今回のアンケートでいただいた内容は、情報を精査しつつ、次年度の改善に活かしたいと思います。
ホスピタリティマネジメント論	3 Q	五ノ井 壽一	講義の中に実体験も取り入れ、より興味を持ち、理解を高めるように工夫・努力いたします。
金融論	3 Q	小林 大州介	慣れない内容でたいへんだったとおもいますが、頑張っていたいただいたと思います。第3Qお疲れ様でした。
運動学 (運動方法学を含む。)	3 Q	米野 宏	授業の満足度で 3%が満足していないので、次回は0%になるよう努めたい。
スポーツ生理学	3 Q	天野 雅斗	Mentimeterやteams、formsを活用して意見の集約、質問の随時受付・対応、講義内容の理解度の確認をしてきたが、今後はGoogle spreadsheetやGoogle slideなども活用してグループワークを取り入れる。より学生が興味を持つテーマ・内容へ改善していく。
哲学概論	3 Q	遠藤 均	とても熱心に受講し、講義終了後も質問に来てくれた学生が複数いて、こちらも大いに触発されました。心より深謝しています。講義内容を記憶にとどめ、今後の対人関係などに活かしてくれると幸いです。
教育史	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が97%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「毎回丁寧な説明で、予習課題や復習の時間があつたので内容がよく理解できた。」、「とても素晴らしい授業で良かったです。」「自分で考えをまとめて発表することが苦手なのでこの授業で少しは苦手を克服することができたんじゃないかなと思いました。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。

生徒・進路指導論	3 Q	高井 雅一	毎時間、授業プリントを配布して振り返り学習できるように授業を進めている。もう少し、グループ学習を多くしてもらいたいという声があるので、さらに改善していきたい。また、生徒指導提要が改訂されたので、内容を吟味して、授業を進めていきたい。
----------	-----	-------	--